

## 成果報告書

上野祥太(慶應義塾大学 環境情報学部 2年)

- ・活動名称: 慶應義塾大学SFC芸術祭2023選抜展
- ・開催時期: 2023年11月25日(土)-26日(日)
- ・開催場所: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスε21, 22, 23, 24教室, o21, 22教室
- ・公式HP: <https://sfc-selective-artwork-exhibition-2023.studio.site/About-JP>

### 【開催概要・成果】

万学博覧会の開催期間中、総勢8組のSFCの学生が自身の作品をキャンパス内に展示、学内外の方々に作品を見ていただきながら、社会に発信する機会を「慶應義塾大学SFC芸術祭2023選抜展」という名のもとに設けることができた。また、開催日2日目の26日(日)には、今回の選抜展の審査を担当した3人のアーティスト/キュレーターである、JACKSON kaki氏、李静文 LIJINGWEN(Seibun)氏、waxogawa/小川楽生氏の3名を会場にお招きし、トークセッションを実施した。

2日間で、約1,000の方が会場を訪れて作品を鑑賞、Tokyo Art BeatやPen Onlineなど展示会の情報などを扱うメディアにも多数掲載された。来場者からは、SFCのアートやデザイン領域の実態を知ることが出来て良かったという意見をいただいたり、出展者からは、選抜展として展示を行うことで1つの作品に使える教室のスペースが広く良かった、実際に作品を制作して様々な方の声を聞けることが良かったという意見もいただけた。主催する側としても、今回は選抜展ということもあり、会場の装飾やキャプションを制作する部分に予算を使えたことで、よりイベント全体のクオリティをあげることが出来たと感じている。また、出展者が絞られることから、出展者1人1人、作品1つ1つに向き合いながら展示の準備が出来たことで、キュレーションの観点から完璧ではないまでも、過去7月に開催した「慶應義塾大学SFC芸術祭2023」や昨年11月に開催した「SFC Creative Week 2022」よりも高いクオリティでの展示が実現できたと感じている。

### 【掲載メディア】

Tokyo Art Beat:

<https://www.tokyoartbeat.com/events/-/Keio-University-SFC-Art-Festival-2023-Selection-Exhibition/keio-university-shonan-fujisawa-campus/2023-11-25>

Pen Online:

<https://www.pen-online.jp/article/014620.html>

### 【開催実績資料】



#### 【今後の展望】

今回の展示を踏まえ、今後我々は、「慶應義塾大学SFC芸術祭2024」の開催準備と芸術祭全体をより良いものにするために、学生や地域住民、学内外の方々に価値あるものにしていくために、規模を拡大しながら、改善・改良に取り組めたらと考えている。2023年12月11日(月)に学生担当の方々と運営メンバーの間で話し合いの機会を設け、実際にスケジュールや人手の問題、安全検査を行う上での問題点など認識を共有することが出来た。今回運営メンバーの中でも、芸術祭にコミットできた時間の大小は様々であり、人手不足が顕著に現れていたため、今後運営メンバーを増やししながら、そこから得られる知見を学内に広く共有できたらと考えている。また、今回出展者や審査の中で関わった方々とのつながりを今後、「慶應義塾大学SFC芸術祭2023選抜展」の運営団体であるDesign & Art Committeeが主催するイベントで登壇していただくなどしながら、SFCのアート・デザイン界隈の活性化に繋がればと考えている。

#### 【謝辞】

改めて本展の開催にあたり多大なご協力をいただいた、鳴川先生をはじめ、各大学関係者の皆様、金銭面から芸術祭開催をご支援いただいた、SFCの先輩方でもある、湘南藤沢Projects様、高宮悠太郎様、その他、選抜展開催に向けて尽力して下さった、特別審査員の方々、友人、先生方、ご卒業された先輩方など、すべての方々へ、心より感謝を申し上げます。